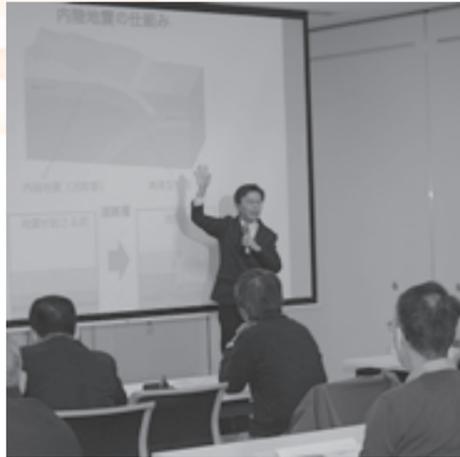


ニュース 玉手箱



地震への用心しっかりと



地 域防災について学ぶ社会福祉協議会主催の防災講座「山形県の活断層と地震活動～山形盆地北部地域について」が11月28日(木)に、虹のプラザ中会議室で開催されました。

講座では地質学の専門家である山形大学の本山功准教授が約70人の参加者に向けて、町内でドローンを使った調査の結果などを示し、大石田町を縦断する山形盆地断層帯北部が活動した場合にどのような影響が及ぶのかを説明しました。また、この断層帯の活動で想定されている地震の規模が、阪神淡路大震災や熊本地震などと似ていることを指摘して「無関心が被害の拡大を招く」として、家具の固定など小さなことから地震への用心を高めてほしいと訴えました。

絶対やめよう!飲酒運転

冬 の交通安全県民運動の一環として12月6日(金)と9日(月)に飲酒運転の撲滅を呼びかける飲食店訪問が行われました。これは尾花沢地区交通安全協会と安全運転管理者協議会が毎年この時期に実施しているもので、店主らに啓発用のポケットティッシュなどを配り、飲酒せずに運転する人をあらかじめ決めておくハンドルキーパー運動の徹底などを呼びかけました。

年末年始はお酒を飲む機会が特に多くなる時期です。「飲んだら乗らない」、「乗るなら飲まない」を家族や周囲の方と呼びかけあって、飲酒運転は絶対にしないよう徹底しましょう。



職人の町の「^{こて}鏝絵」技術学ぶ

子 どもたちに職人の町・大石田の歴史と文化に触れてもらおうと、左官の技術に触れる体験教室が11月21日(木)、22日(金)の2日間、大石田小学校で行われ、6年生児童が^{こて}鏝絵の技術を体験しました。

体験教室は「現代の名工」に選ばれている伊藤富夫さん(東町)が講師となり、子どもたちは伊藤さんのアドバイスのもと、来年の干支・ねずみを石膏でかたどって塗料で着色しました。さらに子どもたちは、それぞれの作品を「中学生になったら部活をがんばる」などと来年の目標を書いた色紙に張り付けて、自分だけの^{こて}鏝絵作品を完成させていました。



親子で楽しむ子育てフォーラム

子 育てびよんびよんフォーラムin大石田が11月17日(日)に虹のプラザ中会議室で開催されました。これは子育てサークル「小さなおもちゃばこの会」(吾妻満代表)が主催して毎年行われています。フォーラムでは、「てんたん人形劇」による子どもの想像力をかき立てる作りこみすぎない人形劇の上演と子どもたちが演じるワークショップが行われたほか、児童書作家の杉山亮さんによる「ものがたりライブ」などが行われ、町内外から参加した親子が人形劇に参加したり、お話を聞いたりして存分に楽しんでいました。



都内で移住相談会を開催

町 に移住者を呼び込もうと11月23日(土)に東京都内で町独自の移住相談会「出張!大石田町移住相談会」が開催されました。

相談会では町の移住支援策の説明が行われたほか、町で就農した元アスリートの丹野朝香さんが新規就農について語り、地域おこし協力隊の香坂明さんが田舎での暮らしと雪国での暮らしについて体験談を語りました。このほか大石田の特産品が当たるビンゴゲームが行われたほか、企業紹介や新規就農など、個別のテーマに関する相談ブースも設けられ、訪れた方が熱心に話を聞いていました。



パラスポーツを体験

パ ラスポーツを体験するイベント「ふたばパラリンピック」が11月16日(土)にふたば児童センターで開催され、児童クラブに通う子どもたちが、パラスポーツを楽しみながらバリアフリーについて考えました。

イベントには町身体障がい者福祉会(長瀬敏雄会長)の会員も参加して、ボッチャやゴールボール、目隠しリレーなどの競技を楽しみました。このうちゴールボールは、視覚に障害のある人のために考えられたスポーツで、子どもたちは目隠しをして、中に鈴が入ったボールを互いのゴールに向かって投げ合っていました。また会場には、子どもたちが行った地域のバリアフリー状況についての調査結果が掲示されました。

